



2019年度

森イキ!

デザインング
プロジェクト

活動報告書

森イキ! デザインング プロジェクト



目次

プロジェクト概要	2
実施内容	4
参加メンバーによるデザイン提案	11
～森で学ぼう!遊ぼう!楽しもう!～みんなの学校 REBORNプロジェクト	12
森イキ!神田イキ!温泉プロジェクト	23
みんなのふるさと計画	32
設楽町ヒルパーク構想	37
森守人	44
おわりに	51



プロジェクト概要

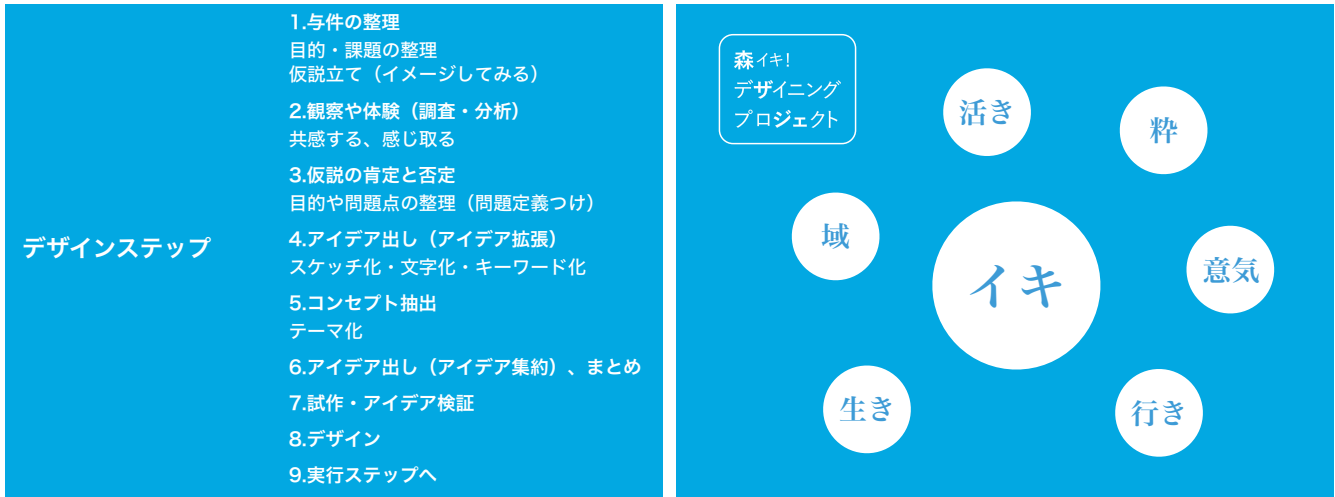
森イキ! デザインプロジェクトについて

森林での活動による環境保全とくらしをテーマとした、なごや環境大学による新たなプロジェクトで、森林を活かす現場での学びと企画実現を試みる参加型プログラムです。

地域や森林のことを知り、楽しく体験しながら森林の課題や問題点を整理し、魅力を発見しながら自由にアイデアを出し合い、森林活用のアクションまで参加者自らが“デザイン”していく「デザイン思考型」プログラムです。

私たちのデザイン思考ステップ

キーワード



©M1_Project SUGINO MINORU

プログラムディレクター

杉野 実(「なごや環境大学」実行委員／M1_Project デザインプロデューサー)

全体像

2019年度は、大きく以下2つのプログラムで参加者を募り、実施しました。

●設楽プログラム(全5回・連続講座)

森林での実地プログラムを中心に、5つのSTEPを学ぶ。

●なごやサテライトプログラム

森のことを楽しく学べるワークショップ・講座などを随時企画し実施。(個別参加OK)

設楽町プログラム

第1回	8月 3日[土]	知ろう! 地域と森林のこと
第2回	8月31日[土]	実感してみよう
第3回	11月 2日[土]	実感から自分たちのやりたいことを考えよう
第4回	11月30日[土]	発想を膨らまそう
第5回	1月18日[土]	アイデアから実際につくってみる
第6回		成果発表会 & まとめ

なごやサテライトプログラム

- ★設楽プログラムのダイジェスト紹介
- ★設楽のプログラムを補足するミーティング・ワークショップ
- ★設楽にこだわらず、森のことを楽しめる、森のことをもっと好きになる講座、イベントなど



フィールド

愛知県北設楽郡設楽町 神田(かだ)区

第2東名高速、新城インターより車で40分、「空」の銘酒で有名田口の町を抜けたところに、ひっそりとたたずむ集落があります。

その集落はおよそ、300年前に伊勢神宮にお米を奉納したことから、この奥三河の山里に『かみのた』『神田』の地名となりました。この神田は、カルデラの地形で、すり鉢上の地形ながらも豊かな実りをもたらしてくれ、又神田に流れる川はほとんどが板敷き川でそれはとても美しく川の中を何キロも歩く事も出来ます。

その先祖は、源氏・平家の落ち武者が大半をしめ、周りを山に囲まれた静かな山間の集落です。おもな産業は、林業でしたが時代の流れに押され里山も、山林も畑も田んぼも荒れて行く課題に直面しています。

拠点施設

神田ふれあいセンター・神田町民センター

神田ふれあいセンターは、廃校となった神田小学校の元校舎等を利活用した青少年教育施設です。普段は、地元の方や設楽を訪れ野外学習などをされる方たちとの交流を目的に、運営されています。森に囲まれた木造校舎の、なつかしくあたたかな雰囲気が魅力です。



実地フィールド

神田区内森林

神田地域の、私有林の一角が今回の基本プログラムのフィールドです。森を少し抜けたところには美しい板敷き川が流れており、この川までの小道づくりを毎回少しずつ行いました。

実施内容

設楽プログラム

本プロジェクトのポイント：5つのデザインSTEPで森をイキイキ！

基本プログラムとして、一つの森を実験場に、山道から川べりまでの小道づくりを参加者全員で行いました。地元の方から森のお話を聞いたり間伐体験をして、参加者みんなで小道のデザインや木の利用方法など、アイデアを出しながら周辺整備をしました。

後半のプログラムでは、イベントの企画や森を活かす仕組みづくりなど、発想を広げて森の活性化につながる提案をデザインしました。



STEP1(第1回)

知ろう！地域と森林のこと

2019年8月3日[土] 10:30～15:30



・プロジェクトの概要説明

プログラムディレクターからプロジェクトのねらいや流れなどを説明しました。

・神田の木を使った名札づくりと自己紹介

名古屋から参加するメンバーと、神田の人が一緒に自己紹介をしてお互いのことを知る時間をとりました。

・フィールドとなる森の見学と神田の人から地域のお話を聞く

今回整備する神田区長の近藤さんの森で、神田の地形や歴史のお話を伺いました。





STEP2（第2回）

実感してみよう

2019年8月31日[土] 10:30～15:30

・基本プログラム(小道づくり①)

木を切る前の儀式、間伐の体験や切った木の皮をはぐ、落ちて
いる枝を拾いとめるなど簡単な整備を行いました。

・間伐&木材の使われ方見学

会場-協力：田口森林組合、奥三河木材協同組合

森林組合と木材協同組合の作業場に行き、森の木の間伐の
仕方と、切られた木がどのように加工され、いろいろなもの
に使われ流通されるのかを伺いました。





STEP3（第3回）

実感から自分たちのやりたいことを考えよう

2019年11月2日[土] 10:30～16:30

・基本プログラム（小道づくり②）

森の小道づくりの続き。拾い集めた枝のウッドチップ化も行いました。

・問題点の定義～アイデア出し

森や河原で枝や苔を集め「自分の作りたい森」を箱庭ジオラマで表現するワークを行いました。そのジオラマを見ながらいろいろなアイデアをみんなで出し合いました。



STEP4 (第4回)

発想を膨らまそう

2019年11月30日[土] 10:30~15:30

・基本プログラム(小道づくり③)

森の小道に設置するベンチと森への入り口となる階段づくりを行いました。

・やりたいことから具体的なアイデア展開へ

グループに分かれ、設楽の森の活性化のアイデアや森で行いたいことなどを出し合うワークを行いました。





STEP5（第5回）

アイデアから実際につくってみる

2020年1月18日[土] 10:30～16:00



・基本プログラム(小道づくり④)

集めた枝をウッドチップにし、小道にまいたり、前回のワークで出たアイデアから、ベンチやブランコづくりを行いました。

・デザイン提案づくりワーク

「成果発表会と森びらき」にむけて、各グループでアイデアを具体的な提案書にするためのワークを行いました。

※3月28日(土)に予定していた「成果発表会と森びらき」は、新型コロナウイルス感染予防の観点から延期となりました。



なごやサテライトプログラム

※
なごやの皆さんも気軽に参加しやすいよう、森のことを楽しめる、森のことをもっと好きになるワークをエコパル
なごや（名古屋市環境学習センター）で開催しました。設楽プログラムに参加していなくても個別・単発での参加
OKとしました。

※名古屋を中心とした（名古屋市域に限らず）、なごや環境大学に参加可能な地域のことを「なごや」と表します

箱庭ジオラマをつくって森のミライをそうぞうしよう！

2019年8月24日[土] 13:30～15:30

夏休みの親子を対象に、森と都市部での暮らしがどうつながっているかを学び、神田の木や石を使って「家族で過ごす、こんな森を作りたい！」というテーマで箱庭ジオラマづくりを行いました。



設楽プログラム第4回フォロー アイデア出しワークショップ

2019年12月28日[土] 13:30～17:00

台風の影響で日程が変更され、第4回（11/30）に参加できなかったメンバーを中心に、急遽、名古屋で集まり、第4回で行ったアイデア出しワークを開催しました。



森の木から『香り』を抽出！ 精油蒸留体験ワークショップ

2020年2月15日[土] 10:30～12:00

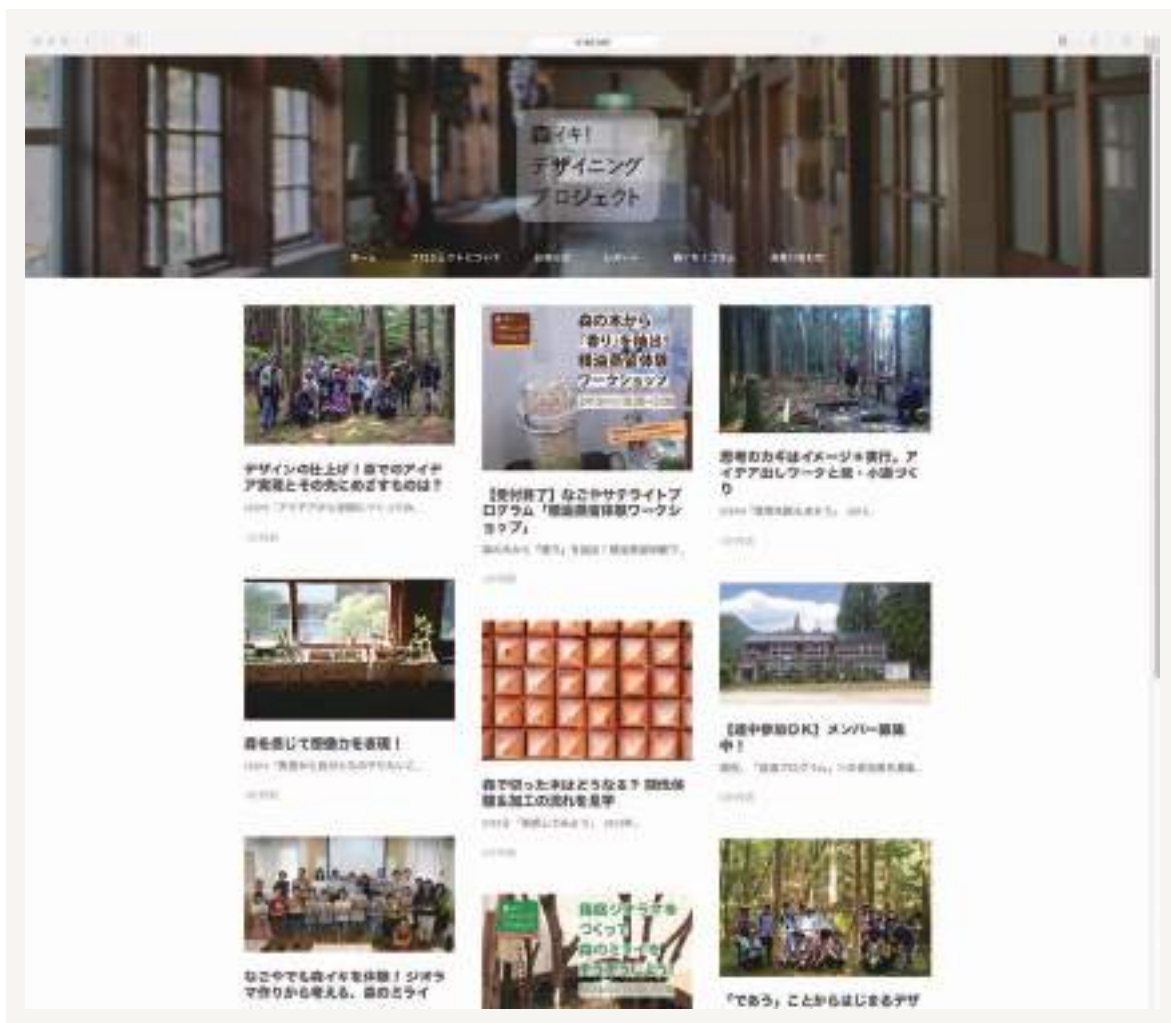
間伐した木を活かし、新たな価値を生む事例として、「水蒸気蒸留法」で精油づくりを体験するワークショップを行いました。デザイン提案を構築中の設楽プログラムメンバーだけでなく、アロマに興味のある女性などの参加も多く見られました。



ウェブサイト開設

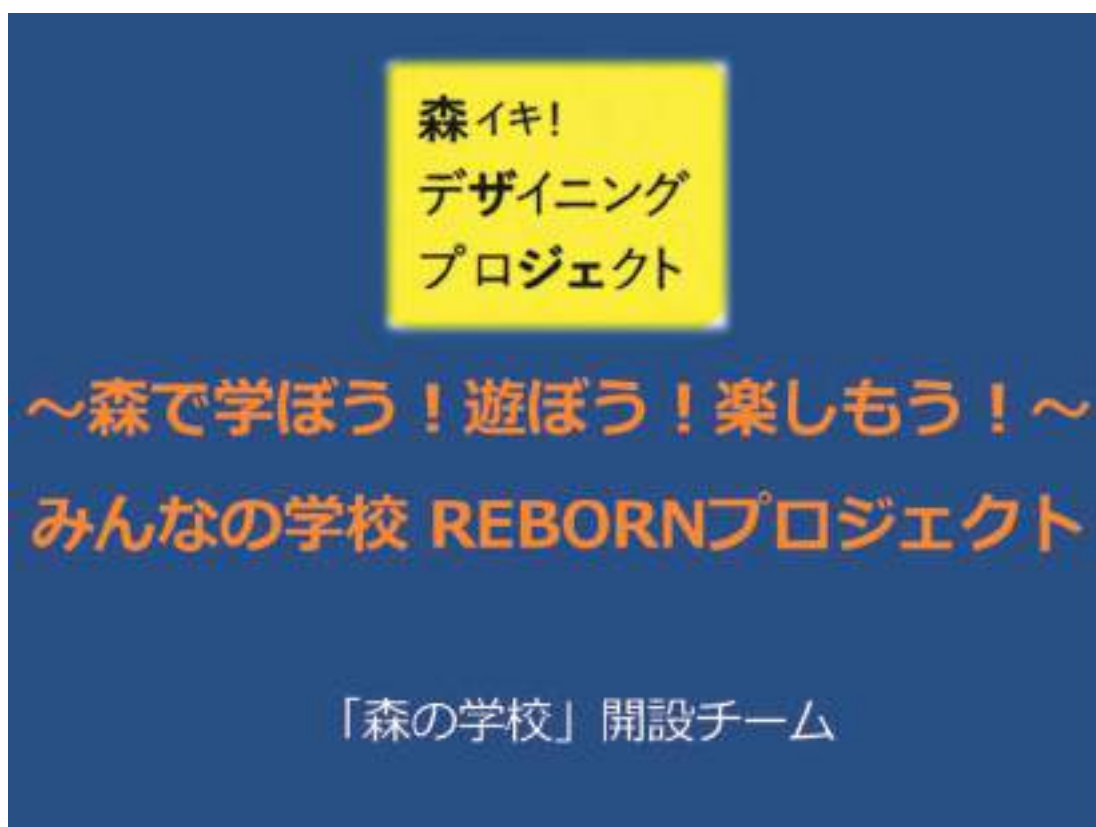
森イキ! デザイニングプロジェクトの活動をリアルタイムで見える化するために、特設サイトを開設しました。
募集中のプログラムの告知や、実施した各回プログラムのくわしいレポート、森イキにまつわるコラムなどをご紹介しています。

<https://n-kd.net/moriiki/>



参加メンバーによる デザイン提案

A:「森の学校」開設チーム



チームメンバー

- ・ 今村 朋範 (自動車系エンジニア)
- ・ 長澤 哲也 (Webプログラマー)
- ・ 山口 ゆずみ (建築士)
- ・ 遠山 直人 (公務員)

神田区の現状

過疎化が進んでいる⇒数年後には限界集落になる可能性大



高齢化：人口の半分以上が65歳以上／森林の不整備：ビューポイントがない／交通の便が悪い：公共交通網の破壊寸前／少子化：小学校が廃校／産業がない：飲食・宿泊の施設がない／林業の衰退：木材需要の低下

**地元の人が神田区の魅力に
気づいてないなんて勿体ない！**

神田区の魅力を再確認して、
魅力をどんどん発信して、
人が集まり、賑わいが生まれれば、

解決できる問題があるはず！！

神田区の魅力をどんどん発信！！



歴史と文化

「森の学校」の開校！！

大人も子どもも
神田区にある魅力を学ぶ・遊ぶ・いただく



豊かな自然



国内屈指の星空



森の学校



実績と人材のある林業・木工業



おいしい水・米・野菜



珍しい地形・地質



おいしい名物・郷土料理

森の学校ってどんな学校？

- ・ 神田区の魅力から、さまざまな科目をつくり、1日もしくは2日の授業を受けられる。
- ・ 地域の方々とともに、科目作りを行い、地域の人々が先生となって参加者へ様々なことを伝える。

森の学校がもたらす神田区への効果は？

- ・ 授業の中に間伐作業等を取り入れることにより、授業を楽しみながら森の整備ができる。
- ・ 人が集まることによって、神田区が賑わい、飲食店や宿泊施設等の産業が生まれる。

教科・科目を一緒に考えましょう！！

例えば・・・

教科	科目
国語	・伝統芸能（民謡・舞踊）の体験
社会	・農業、林業、観光業の課題を学ぶ ・武田・織田・徳川の兵の夢の跡を探そう ・未来のエネルギーについて考えよう
理科	・満天の星空観察 ・川の生き物探し ・神田の地形の歴史を知るネイチャーツアー ・神田の資源を使ったハコニワづくりで森を想像しよう
技術科	・オリジナル家具・キャンプ道具作り ・間伐体験を通じた遊べる森づくり ・神田産農産物の植付～収穫までの体験 ・DIYで学校を修理しよう
家庭科&給食	・郷土料理、田舎料理、スイーツを作ろう ・地域の名物を作ろう、食べよう
課外学習	・家族、仲間でキャンプしよう ・アロマオイルを作ってみよう

さまざまなテーマと、魅力ある時間割で、広く神田ファンを増やす

森の学校の時間割

『森でくらしのDIYを学ぼう』

	第1回		第2回	
	1 Day(Sat)	2 Day(Sun)	1 Day(Sat)	2 Day(Sun)
1時間目	イントロダクション 森の現状と課題について	オリジナル家具を デザインしよう	畑の手入れと 野菜の収穫をしよう	小麦をひいて うどんの生地を作ろう
2時間目	森を 歩いてみよう		オリジナル家具を 組み立てよう	味噌を仕込もう
給食	五平餅を 作って焼こう	森の木でパンを 焼こう	とろろを掘ってとろ ろご飯を食べよう	うどんを切ってゆで よう
3時間目	折り畳みイスを 作ってみよう	木工具の使い方を 学ぼう	オリジナル家具を組み 立てよう	醤油を仕込もう
4時間目	今日の宿題と 食材を調達しよう	学校を少し直してみよう	学校を少し直してみよう	森で木を切ってみよう
5時間目				自分で焙煎したコー ヒーを森で飲もう
夕食	大鍋の芋煮、 カレー	下校	森の野菜とジビエの コース料理	下校
夜の イベント	星をさがそう		月や惑星を見てみよう	

時間割を通して、森の学校で森について学び、森の整備をしてもらいながら、次の2つをしてもらいます。

①自分のオリジナル家具を作る ②自分が食べるものを自分で作る

「森の学校」を使ってどんどん魅力を発信！！

- ・ SNSで、森の魅力を発信
- ・ HPを作成して、定点カメラで星空や学校の様子を発信
- ・ クラウドファンディングにより話題を集める
- ・ 神田のブランド（特産品）をつくる
- ・ 全国の「神田」の地名を集めて、「神田」サミットを開催



森の学校



プロジェクトが話題に！

森の学校に来るのはどんな人??

休日に、心と体に栄養を蓄えたい方！
少ないお金で1日遊びたい家族！
ツーリングで立寄る場所を探してるグループ！
とにかく山が好きなすべての人！

まちにはない魅力を求めて
「森の学校」へ行こう！！

運営をどうするか？

活動に必要な備品の購入費や活動従事者への謝礼等の必要資金は運営（NPO法人）自らが直接資金を獲得できるような体制を考え出さなければいけません。

課題

活動を継続するには、資金が必要。

4つの運営方法

運営方法

収入を生む4つの運営方法

1. 森の学校参加料としての収入
2. 教室で飲食できるカフェ（給食？）としての収入
3. NPOの古民家を宿としての宿泊料としての収入
4. クラウドファンディングとVIPオーナーから資金を調達

① 森の学校参加料としての収入

学校の校舎跡を再利用して
開講した森の学校の授業
参加料金をいただきます。



② 教室で飲食できるカフェとしての収入

廃校になった小学校を
改修して、神田地区の
美味しい食材を
堪能できるカフェとして
食事代をいただきます。



③ NPOの古民家を宿として利用していただく

学校の近くの木造づくりの、
NPOの古民家を宿として、
利用していただきます。
週末に、田舎でのんびり
したい方には、
もってこいの宿です。



④ クラウドファンディングで資金を調達

インターネットを使って、人々から少しずつお金を出してもらって
事業に必要な資金を調達・協力を
呼びかけます。

彼らは協力者（スポンサー）となり、
ほぼ全員必ず神田に来ること
になりますので、スタート時の広
告宣伝になります。



協力者へのお礼として



1. 神田地区特産の丸ナスをプレゼント
2. 「特待生」として1年間授業を無料で受けられる
3. 夏休みを古民家で過ごして、里山くらしを体感できる（8月の1カ月間を無料で宿泊など）

クラウドファンディングのお礼品として、市場に出回っていない品であることが条件ですが、神田地区の丸ナスは市場に出回っていないのでお礼品として差し上げることが可能です。

企業向けオーナーの導入

一般協力者とは別に、
VIPオーナーも導入

ここでのVIPオーナーとは、先に提案した4つの運営方法とは異なり、企業等を対象にした大口の資金協力者です。



企業の福利厚生として、神田を利用していただき、旧学校の活動での運用資金を援助していただく。

VIPオーナーの特典

1. 神田地区の畑を借りられる
2. 神田地区で木のロッジを組み立てる

1. 維持・管理できなくなった農地を借りて、企業が畑、田んぼを社員やスタッフ達で借りて、収穫したもの農産物が収穫されたものを受け取る。 2. 木のロッジを購入して、社員やスタッフ達で組み立てます。地元の森林組合の力も借りてみんなで組み立てる。組み立てた後は、会社の福利厚生の一環として活用していただきます。

企業にとっての他のメリット

1. 企業の福利厚生として利用してもらう。
→社員満足度の向上
2. 企業として、SDGsの取り組みへの参加。
→社会的評価向上
3. 社員同士の交流の場として活用。
→団結力の向上

私たちがはじめられる一歩

まず、私たちが楽しみましょう！！

さらに、メンバーそれぞれが、都会の知人や友人、家族に呼びかけて、森の学校の授業やイベント、古民家の宿泊等で神田の森に参加しする人を増やします！

私たちが楽しんでイキイキしていると、周りのみんなが興味を持って、集まってくる！
周りの人も神田の森に参加してイキイキに！

神田区と都会の縁をつくり、人と人をつなぎます！

インスタグラム等のSNSで積極的に神田の風景や、イベント内容を投稿し、神田区に行くと森の魅力を満喫できる、楽しい経験ができる情景を発信！

[illegible]

森イキ!
デザイン
プロジェクト

森イキ! 神田イキ! 温泉プロジェクト

ちーむ 神田の湯。

森イキ！
デザインング
プロジェクト

チームメンバー

- ・ 深津 あづ美 (大学生)
- ・ 佐々木 久美 (ディレクター)
- ・ 中嶋 桂吾 (コケ好き大学生)
- ・ 中森 浩二 (グラフィックデザイナー)

神田区は年々人口が減少し、過疎化しています。
過疎化により、神田区の産業である森林に携わる方が減少しています。



森を手入れする方がいない → 森の機能が低下する

産業が停滞することにより負の連鎖がおり、地域資源が低迷状態となり、さらに過疎化が進行していきます。



地域資源を生み出すには

新たな地域資源を生み出すには、神田区の人口では賄いきれません。
まず神田区に「人を呼ぶ仕組み」を考えることが重要になります。

〔神田区に人を呼ぶ方法〕

- ・ 郊外からの人を呼ぶ
- ・ 老若男女! お子様からお年寄りまで楽しめる施設をつくり集客する

地域の特徴を活かした仕組みづくりが重要



神田区は風光明媚な場所が多く、そのひとつに「源泉」があります。
その「源泉」を活用し、温泉施設を設営して、施設を中心とした町
が活性化する仕組みをつくりまします。

コンセプト

温泉を中心とした、新しい町づくりのキャッチフレーズを設置し、
神田区に携わる人々の士気をあげます。

温泉を中心とした 町の活性化

～隠された神田区 今、解禁!!～

温泉施設をつくる理由は、地域活性化させることで、神田区に携わる3つのポイントを活かせることができます。

なんで温泉なの？

源泉がある

開伐材を使って湯を
沸かす！



森がイキる！

はたらきの場

長く働ける環境があれば、
移住者もくる！



人がイキる！

シンボル

温泉を中心に区の
活性化！



町がイキる！

温泉施設をつくるにあたり、3つの課題があります。



温泉を作りたい！

しかし



資金不足



地名度が低い



集客ができない

3つの課題をクリアするために、2タイプのイベントを企画し開催いたします。

2タイプのイベントを企画

①

体験・参加型
小規模イベント

②

恒例の
大規模イベント

①体験・参加型小規模イベント

老若男女の方が気軽に参加できる、
多種多様の体験・参加型のモデルコースを開催。

行くたびに発見がある企画を考え、ターゲット毎に
コースをわけ、月1回程度の開催する。

- 歴史＋自然
- 星の観察（運動場にテントを張っての観察）
- 森林浴（山歩き・ハイキング）
- 火を使って飯盒でご飯を作ろう！
- 農業体験（お茶摘み・梅の収穫）

ガイド及び指導者には
地元の方を起用

②恒例の大規模イベント

毎年の恒例のイベントとして、開催。

子どもから大人まで参加でき、
自然に触れ合いながらピクニック！気軽に参加できる
トライアスロンのような「**カタアスロン**」を開催。

- 板敷川で有名な神田の川の中を歩く
- ↓
- 森を歩く
- ↓
- 自転車（シティサイクル）で「長江の棚田」まで行く

2タイプのイベント実施により、3つの課題をクリアします。



資金が足りる



地名度の向上



集客ができる

クラウドファンディングによる資金調達



温泉ができる！

ブランド戦略により、温泉施設のPRとともに「神田区」の地域PRも担います。

■温泉ロゴ



イベントに絡めた、様々なアプローチ方法で集客に向けたPRを行います。

●SNSを活用

ツイッターやインスタグラムを活用して、「神田区情報発信」を始め、「神田区写真コンテスト」や「神田区イベントアイデア募集」等の公募イベントを開催する。

●町おこし映画

神田区に伝わる昔話や風土をベースに、町民参加の映画を製作。郊外で上映会を行う。

●VR体験会

神田区の自然や歴史のある場所を撮影し、郊外にてVRを使用した映像体験会を開催する。

●音楽コンサート開催

旧説楽町立神田小学校を会場に、音楽コンサートを開催。地域の方やゲストを招いて開催する。

●参加・体験型小規模イベントのアイデア・運営者を募集

一般に「参加・体験型小規模イベント」のアイデア・運営者を募集する。

運営方法

運営方法は、4つのグループに協力を仰ぎ、共同で運営します。



私たちがはじめられる一步

すぐ実行可能な企画

神田のいいところ駆け抜けフェスティバル (仮称)

愛知県東北に位置する小さな集落。

まるで時間が止まったような隠れ里 設楽町神田区

こんな、山奥に神の田なんてちょっと不思議

それもそのはず、遥か昔に伊勢神宮にお米を奉納したので「神田」の地名となりました。

そんな由緒ある？神田区の自然と歴史？を満喫して頂く

ちょっと変わったイベントです。

歴史好き・アウトドア好き・スポーツ好きも一緒に楽しめる

まさにフェスティバル！

内 容

トトロに出てきそうな、木造建築の旧神田小学校グラウンドに集合

まずは、皆で、旧小学校脇にある『神田神社』1日の無事を祈願しながら
神社の歴史のお勉強

そして、レトロ感たっぷりの旧小学校校舎の見学

トトロがいるかも？！

グラウンドの脇道から、絵に書いたようなのどかな里山風景を見ながら田んぼの
あぜ道を散策。自然に生息している苔や、四季の山菜（わらび・ゼンマイ・せり）など
観察して歩きます。

幹線道路を横切り、今度は山道を少しだけ歩いて・・・ちょっと、うっそうとしていて
ドキドキしながら歩くこと、ほんの少し。

視界に綺麗な川が出没！今度は川の中をどんどん歩きます。

川の中を歩く？！

大丈夫です。神田区の地形はカルデラになっていて川のほとんどがそれは
綺麗な板敷川です。浅瀬を水の流れを感じながら魚になった気分で歩きましょう

川の水と戦いながら歩いていくと、森の秘密基地なる場所到達
開伐し整備された、森の公園『森イキプロジェクト』の皆で整備した秘密基地
この秘密公園の意味・開伐の必要性・山って凄い！を学びます。

お昼休憩

森の公園で、川のほとりで。思い思いの場所で昼食

先程歩いて来た川の上流には小さな橋がかかっており

とても綺麗な風景の中に身を置いて

木の匂い・風の音・水の音を感じながらのお昼ご飯は最高！

ここで、少し長めのお昼休憩をとりますので自然を満喫くださいね

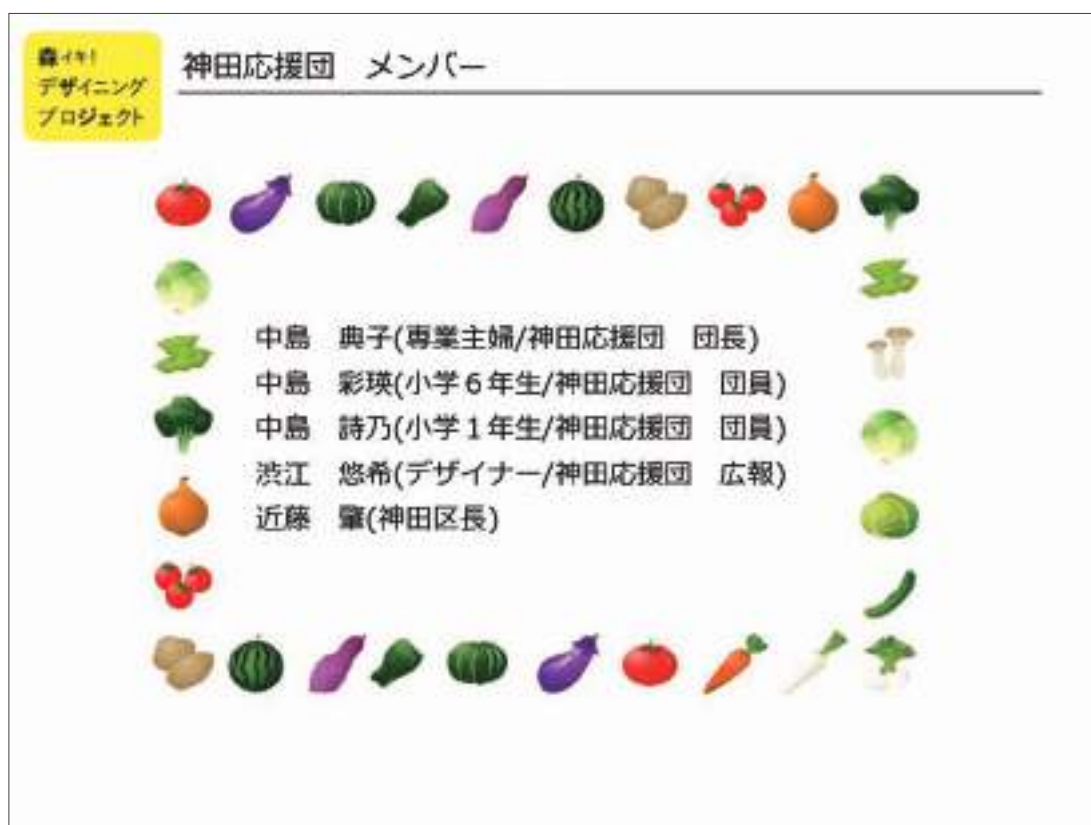
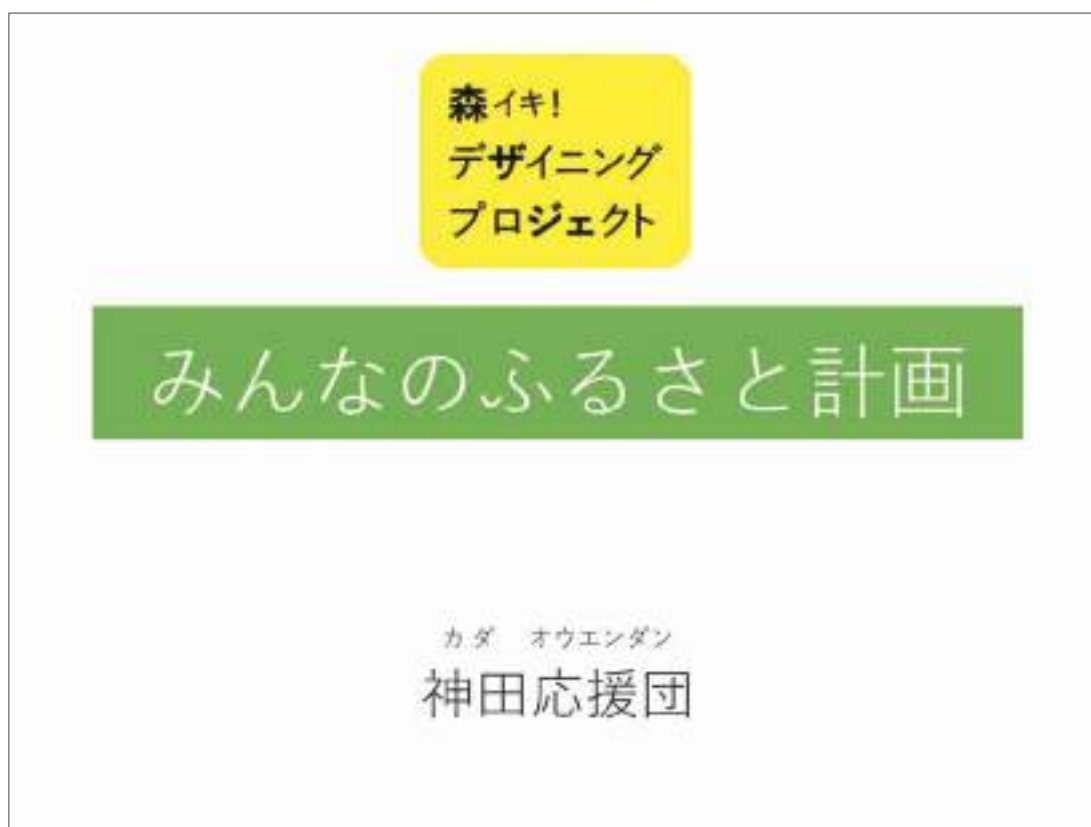
ただし、迷子になると困るので勝手に山の中や川には入らない事がお約束

さて午後からは

川沿いの道路を歩きながら石碑の勉強です。

ゴールは、旧神田学校 木造校舎がお出迎え

C:神田応援団



細い国道の先に神田はありました

初めての神田は慣れない道。知らない道を運転したのでやっと着いた～！
というのが本音でした。
しかし空は広く、山の存在が頼もしく感じました
そして山に入ってから子供達は自分からこれをやりたい！と率先して動いていました
大人と同じ仕事をさせてもらえる嬉しさがあったのかもしれません
地元の食材を使ったお昼ご飯はもっとお腹に入れればいいのに！
と思うほど美味でした
話しかけてくれた地元のおばちゃんたちと
たくさんおしゃべりしました
そして1月、訪れた帰りがけに
「あなたは娘でこの子たち（私の娘たち）は孫よ」
と何気なく声をかけられて、
ああここがふるさとだったらなあと思いました



もし神田がふるさとだったら？

一人暮らしを始めた時に実家からの段ボールにはいつも応援物資である
食料が主に入っていました
地元のスーパーにしかない食品や、畑で育てたいびつな野菜が、
段ボールを開けるといっぱいに入っていました
今回森イキプロジェクトで初めて神田に来て、お昼に頂いた芋煮の芋の柔らかさ、
冬なのに採れたてのトマトの美味しさに感動しました
「ふるさと」と思える場所で野菜を育ててみたい、こまめに通ってお世話が出来なくても、
もしライブカメラがあれば育つ様子も確認できて
食べ頃（野菜に会うために神田に来る時期）も分かります。



親子で楽しめるワークショップがあれば何度も来なくなる、
交流したくなる、顔が見える人間関係を
作ることができるのではないかと思います

子育て中の家族を中心とした世代に知ってほしい

親世代の実家が必ずしも県外や田舎、不便な場所ではないという方もいます
 そういう方々に神田を第二のふるさととして大切にしたいと思えます
 土があって、森があって、川がある場所で子どもたちが全力で遊ぶ姿を見てほしいです
 切り株があればジャンプ台、
 転んでも痛くないフワフワの地面、
 落ち葉があれば料理（おままごと）、
 石があれば川で水切り、
 丸太があればグラグラゲーム
 時間を忘れて過ごせます
 親が野菜に感動している間に
 子ども達は泥だらけになれます



子どもは神田自由研究所の所員、大人は神田生活研究所の所員になろう

大人は野菜の植え付けから収穫、その後の活用方法などを学びましょう
 自宅でも活用できるものを作ったり、自家製の食品作りで生活が豊かになると
 次は自分で何が出来るようになるか楽しみになります
 ふるさとに滞在中は子どもに「ダメ！」と言わないことを心掛けましょう



こどもたちにはこんなこと

こどもたちは自由研究の種探しをしよう

春のメニュー
動物の痕跡探し
鳥の巣箱作り
春色探し

夏のメニュー
川の散歩
石のペイント
氷切り大会
石の植上げ競争
輪船はし・大車出し大会
思いこみりくする王！
旗巾掛け選手権

冬のメニュー
遠くをみよう
星座を観察
炎の体験

秋のメニュー
落ち葉比べ
葉脈でしおり作り
苔デラリウム
秘密基地作り
宝さがし

いつでもメニュー
百葉箱で観察
地図で行動してみよう
生き物スタンプラリー

どうやって参加しようかな

私がなぜこのイベントに参加することになったのか？

友人から写真付きでイベントの様子を生き生きと伝えてくれたからです



樹下がつるつるなんだよ！

木が倒れる音がすごいよ！



校舎の横にあるんだよ！

この写真みたら、私も子どもを連れて行きたくてうずうずしてきました
こんな風に私も友人たちに伝えていきたいと思いました

みんながふるさとに関わっていくために

■ 地域通貨を作り、運営を地域通貨で行う（単位はカダ）

まず野菜の植付け、森の手入れなど神田で自分が出来ることをしたら報酬を地域通貨で受け取り
研究所の活動の参加費などは地域通貨で支払う

地域通貨で野菜が購入できたり、ふるさと納税のようにふるさとに還元できる仕組みがあると
神田に行けなくても貢献している気持ちがふるさとに伝わると思います

ポイントと同じように貯めたくなる、使いたくなる仕組みがあると良いと思います

■ 「関係人口」に登録する

総務省のHPによると、『観光にきた「交流人口」以上、移住した「定住人口」未満の人たちの
ことでその地域の方々と多様な関係を持つ方』のことだそうです

そのような意思を示した人に神田の住民票を配布する

もし災害が起こった時に、お互いに一時避難場所の提供をし合うなどの顔が見える
お付き合いが理想です

わたしができる少しのこと



■ 名古屋から神田に行きたくても行けない人たちがいます

運転免許のない人、運転に自信が無い方などそういう方のために神田を名古屋に
持って来ることができたら素敵だと思いました

森、苔、香り、校舎のジオラマ、美味しい食事、チェーンソーの音など。

まず楽しそうな写真を友人にアピールします

■ 神田の森の開放日があれば子どもは遊び、

親は森の手入れをする時間にする

私は大学の演習林で作業経験がありますが、

社会人になってからは残念ながら

実践する機会がありません

指南して下さる方がいれば是非やってみたいです



D: チームヒル





設楽町の森に入って感じたこと

空気がキレイ
川があって木も草も
遊べるものがいっぱい
おもちゃ箱のような
ステキな森

だけど…
嫌な事が1つ…



ヒルが沢山いて怖い!!
ヒルがいなかったらいいのに!!



ヒルの怖さを聞いて、用心して森に入る。が…いつのまにか、ここにも、あそこにも!! ヒルがたくさんいて怖い! ヒルがいなかったらいいのにー



でも、ヒルも私たちと一緒に一生懸命生きてる。私たちが家に住むようにヒルの家は森。ただ森で住んでいるだけで、ヒルは嫌われ者 それってかわいそうかも？そこで私たちは考えました！





ヒルをコンセプトにしたテーマパークを
作っちゃおう!!

ヒルパーク



色んな人が集える楽しい森の遊具や
アスレチックがある
体験型の自然の中で遊べる楽しい場所

◆ヒルの観察をして、ヒルがいても楽しく森で遊ぶ方法を習得できる



ヒルパークに来て欲しい人

- ヒルパークを一緒に創ってくれる人
- 親子連れ
- 自然遊びがしたい人
- 子供会や学童の子供達
- アスリート





ヒルパークのキャラクター



ヒルくん ヒルちゃん

可愛いヒルのキャラクターで、ヒルへの興味を引き、好きになってもらいましょう。



ヒルパークのあそび

- ターザンロープ
- ブランコ
- シーソー
- 滑り台
- ハンモック
- 顔はめパネル
- 木工体験
- ヒル探しゲーム等



◆森のめぐみを活かした遊具や体験





ヒルパークの施設&催し

<ヒル神社>



来てくれた人が安全に楽しく
遊べるよう願って作る

- ・ヒル祭り
- ・ヒル絵馬
- ・ヒルお守り
- ・ヒルおみくじ 等

◆季節や地域とのコミュニケーションの場として活用



ヒルパークの おもてなし&おみやげ

- ・ヒルあめ（鉄分入り）
- ・ヒルクッキー（鉄分入り）



- ・ヒルハット
- ・ヒルヘルメット
- ・ヒルコップ
- ・ヒルはし
- ・ヒルフォーク&スプーン
- ・ヒル皿
- ・ぬいぐるみ



◆来てくれた人への健康配慮や、
帰ってから思い出してもらえグッズ





設楽町にはこんな素敵なおもしろい楽しい場所がある！まずそれをたくさんの方に知ってもらうことが大切だと考えています。そのためにはまず私たちがはじめられる一歩は[チラシを作ること]です。



①活動案内チラシ…設楽の神田地区で自然遊びができるヒルパークを地域の方と一緒に作っているという案内
②定期メンバー募集のチラシ…1年通して一緒にヒルパークを作ってくれる人を募集する。月1回第●土曜日(案)にブランコ、スベリ台など月に一つの遊具を、木材を使って作りヒルパークをみんなで完成させよう!! ※自然体験をしながら、みんなが集える場所を一緒に作っていくメンバーを募集③単発参加募集のチラシ…春休み、夏休みなどの長期休みに子ども会や学童の子達が単発で申し込みができるチラシ

E: 森守人

森イキ!
デザインング
プロジェクト

緑の会議に集い街人
「森守人」宣言

森守人
mori mori
Bito

短所と長所



森イキ!
デザインング
プロジェクト

森守人メンバー

山根由士  (流木アーティストの森守人)

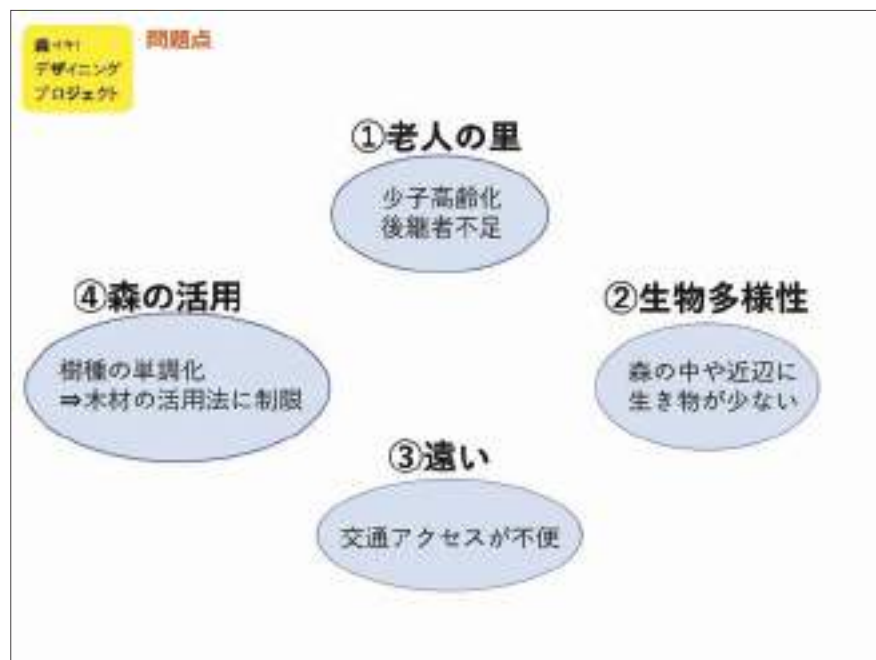
緒方隆文  (コミュニケーションdesigner・
デザイン専門学校講師の森守人)

岸晃大  (大学生の森守人)

西裕史  (公務員の森守人)

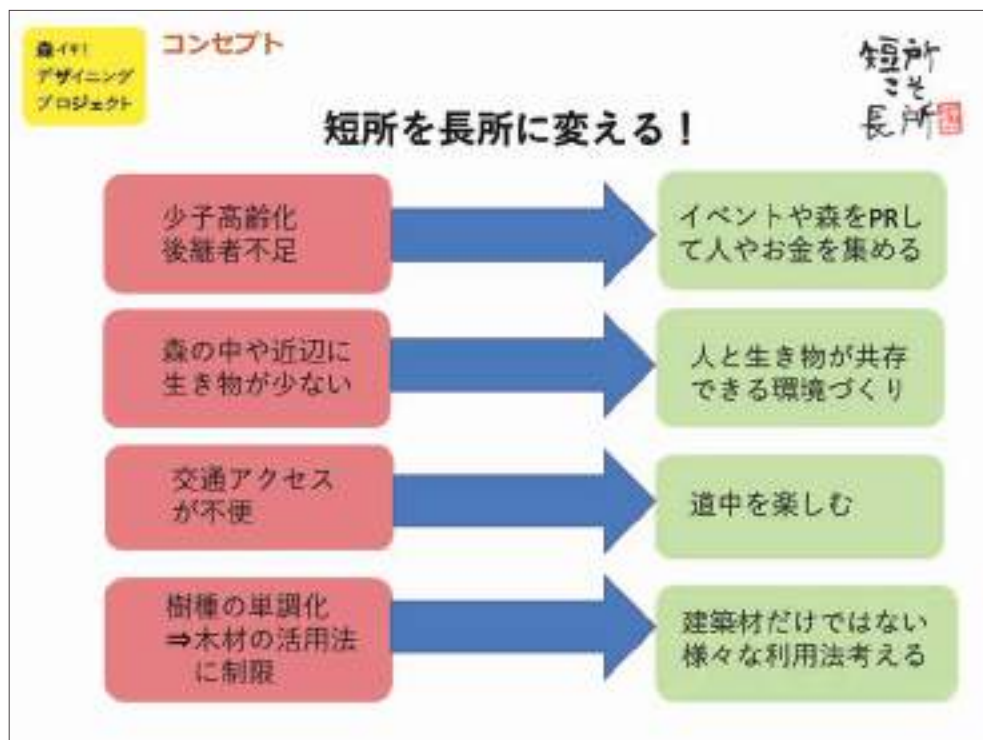


私たちのグループでは、課題・問題点を別の観点で考えてみました。テーマは『ウイークポイントをストロングポイント』（短所こそ長所）です。課題・問題点のキーワードを抽出し、それを基に図式的に見える化してみました。



4つの大きな問題点を抽出しました。

①老人の里・・・日本各地の大きな問題であり、森林の維持管理が出来なくなる。②生物多様性・・・開発や気候変動等によって在来種が減少し、地域の生態系に影響が出ている。③遠い・・・都市部から設楽町神田地区への往来に時間がかかり移動手段が限られている。④森の活用・・・スギ・ヒノキの人工林が多く、森が単調化し森全体が資源として活用されない。



森イキ! デザイニングプロジェクト

設楽の森、生き物、人、歴史、文化が大好き!

たくさんの生き物が関わり合っている楽しい森作りをしたい!

来年も10年後も100年後も続く持続的な森との関わりを考えたい!

神田のめぐみで、からだも森も元気モリモリになっていきたい!

団結と調和で森とまちの繋がりを深めたい!

のびやかな人と森との関係を作りたい!

森の多面的な機能と魅力を活用したい!

利益も作り出し森に還元しつつ森の恵みに感謝したい!

森との関わりを深めて持続可能な暮らしをしたい!

リスクも強みに変えていける柔軟な考えと行動力を持ちたい!

ビジョンを描きながら森を作り守り活かしたい!

と遠くの森も近くの森も大切にしたい!

そんな人たちを
森守人
と名付けます!

この森イキ! デザイニングプロジェクトに参加した方々や、神田地区の方々、そしてこれから関わっていく方々を、私たちは『森守人』と名付け、特に、この地区ならではの『設楽神田の森守人』(したらかだのもりもりびと)が考える森への想いをまとめてみました。



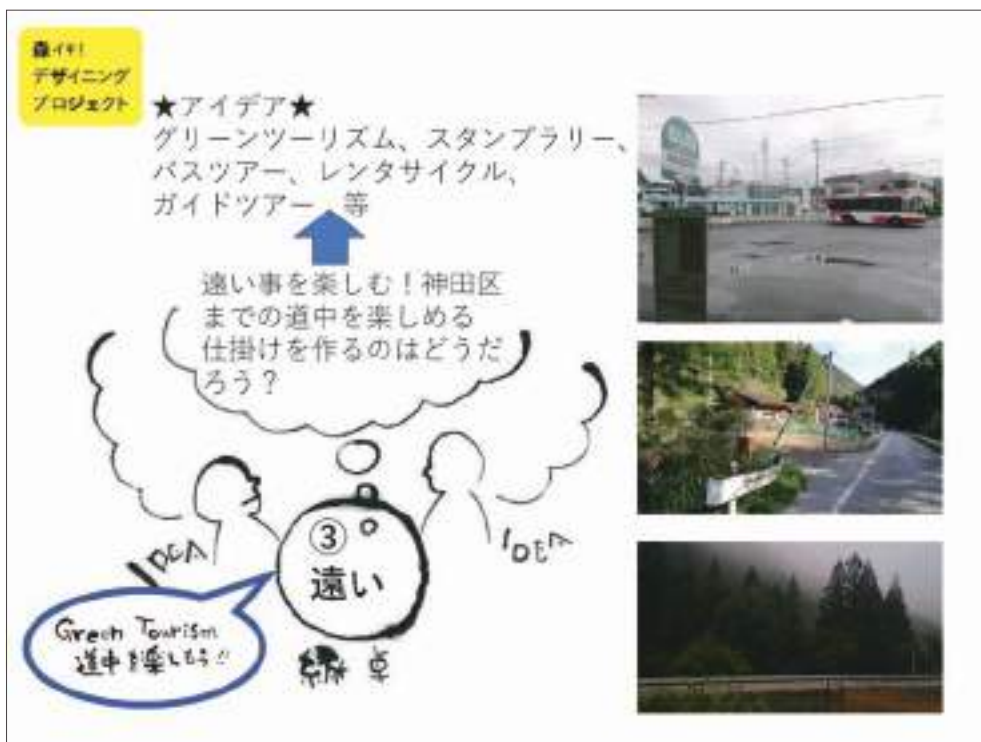
ここからは、『森守人』は何をしたらよいのか、何が出来るのかを『短所こそ長所』のテーマに基づき、想いを形にしていきます。



森守人は、都市部と山村の人や森との繋がり縁を紡いだり、ストーリー作りのお手伝いをします。



森守人は、人と生き物が共存しつつ、暮らしやすい環境づくりを調査し、考えながら、災害にも強い森林整備
や地域の多様性のある自然環境の保護を行っていきます。



森守人は、道中を楽しむ工夫や仕掛け作りをしていき、新たな魅力の発見や埋もれているものを発掘します。

森イキ！ デザイニングプロジェクト **PR方法**

『森守人』のロゴ、Tシャツ等のPRに役立つアイテムやグッズを作る



地域の有名人をクローズアップしたり、地元ならではの場所や物事等を紹介する



木を使って工作や身近なものに木材を活用する



森守人の輪が広がっていきける様に友人や家族と共に参加する



森守人として、ここにあげたものの他にも、自分出来る事や想いをアウトプットして、森への恩返しが出来ると思います。

森イキ！ デザイニングプロジェクト **森守人宣言（私たちのはじめの一步）**

- ① 設楽の事を知る、興味を持つ、調べる、行ってみる、感想をアウトプットする。友人等を誘う
- ② 自分たちの出来る事で関わる。イベント等に参加する、イベントに携わる、PRをする
- ③ 木や森に興味を持つ。設楽の森に行く。森林整備や植生調査、木の苗を植える（木の交流）
- ④ 木材を使う。出来るだけ自然素材を使う、地産地消の物を使う、森からの特産物を使う
- ⑤ 生き物の住みやすい環境を作る。生き物との関わりについて学ぶ、森林整備に参加する
- ⑥ 出来るだけ森を歩く。森を五感で感じる、ゴミを捨てない、設楽の色々な森を見に行く
- ⑦ 安全やリスクに対して学ぶ、柔軟な思考と行動をする、野外活動に慣れておく
- ⑧ 歴史や伝統、文化について学ぶ、人と森の関わりを学ぶ、林業や木との関わりについて学ぶ
- ⑨ 川上から川下の現状を知る。地球環境を意識し行動する、減災に努める工夫をする
- ⑩ 多世代でイベント等に参加する、『森イキ！』を継続的に行う、持続可能な暮らしをする

行動すれば
変えられる！

階段ができました！




森守人として活動するための条件や資格、年齢、国籍、性別等は何も必要はありません。神田の森が好き、人が好き、生き物が好き、この場所が好き等々、いつでも心にワクワクを持っていればOKです。神田の森に行けなくても自分の周囲の人、生き物、森を大切に思って、自分の出来ることで行動して頂ければ良いと思います。いつでも元気モリモリ、アイデアモリモリ、パワーモリモリで、また森にイキ！しましょう。

おわりに

2019年3月「森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律」が成立・公布され、森林環境譲与税は、市町村においては間伐や人材育成・担い手の確保、木材利用の促進や普及啓発等の「森林整備及びその促進に関する費用」に充てることとされました。

それを受け、なごや環境大学は森林環境譲与税を活用した森林プロジェクトを新たに立ち上げ、多種多様な人材が集まるなごや環境大学の資源を活かし、協働するプログラム「森イキ！デザインプロジェクト」をスタートさせました。

デザインというと一般的には「色やカタチを描く」ことと捉えがちですが、絵を描くことだけではなく文章で表現することを含め「目的の達成をイメージする」「想い(考え)をカタチにする」「イメージをつくり上げ具現化へと導く」ことをデザインとしています。

「森林とデザイン」、一見関連性がないように感じられるかもしれませんが、広い意味で森林を“デザインしよう”という試みが森イキ！デザインプロジェクトです。

プロジェクト参加メンバーは、森の整備を楽しみながら、純粋に森や地域の魅力を感じ取り、そして森や地域の抱える課題や問題点を見つめ、発想を膨らませ、具体的なアイデアを出し合いました。

参加メンバーには森林の現状を知る良い機会となり、地域の人たちの協力のもと森の整備により変わりゆく森の姿を実感しながら、森や地域への親しみが生まれました。手付かずだった森は、参加メンバーの体験やアイデアにより整備への一歩となりました。

現地でのプログラムだけではなく、なごやサテライトでのミーティングやEメール上での積極的な意見交換などを重ね、素晴らしい「デザイン提案」がまとまりました。

これら成果によって、森林や地域が活性化する一助になれば幸いです。

「なごや環境大学」実行委員／M1_Project デザインプロデューサー
杉野 実

森イキ!デザインプロジェクト 2019年度活動報告書

■参加メンバー

浅田益章・今村朋範・遠藤立子・遠藤稔・遠藤楓・加藤美奈・神谷佳吾・河西未沙希・小林泰夫・渋谷悠希・田内さおり・田中創・長澤哲也・中島典子・中島彩瑛・中島詩乃・中嶋桂吾・中森浩二・林正実・林かおり・深津あづ美・深谷里奈・水谷阿裕美・水野拓郎・安井早苗・安井飛翔・安井勇人・山下菊丈・山下夢都美・山根由士・横井武志・横井美奈子

■なごや環境大学森林プロジェクトチーム

杉野実(M1_Project デザインプロデューサー)・大鹿聖公(愛知教育大学 教育学部 教授)
緒方隆文(OPA オガタ プランニング アソシエイツ)・岸晃大(名城大学)・松本イズミ(NPOフィットラボ 代表)・山口ゆづみ(特定非営利活動法人コンソーシアム有松 事務局長)
吉田耕治(金城学院大学 薬学部薬学科 准教授)
事務局/蒲和宏・寺西慶徳・遠山直人・西裕史・天野ゆうみ

■協力

設楽町神田区のみなさま
特定非営利活動法人三遠南信Maido倶楽部
田口森林組合
奥三河木材協同組合
飛騨五木株式会社

2020年3月発行

編集・発行「なごや環境大学」実行委員会

〒460-0008

愛知県名古屋市中区一丁目23番13号 伏見ライフプラザ13階

TEL 052-223-1223 <https://www.n-kd.jp/>



なごや環境大学

